

令和6年度

事業報告書

公益財団法人 沖縄県畜産振興公社

# 令和6年度事業報告

自：令和6年4月1日

至：令和7年3月31日

## 1 事業内容

### 〈総括〉

令和6年度の県内における肉用牛や豚枝肉の価格情勢については、肉用子牛の取引頭数が23,882頭で、前年度24,906頭を下回り、平均取引価格は約483千円で、前年度の495千円を下回った。また、豚枝肉の平均卸売価格は、596円/kgと前年度の548円/kgを上回り、安定的に価格が推移したことから、平成25年度から継続して12年連続で補てん金の発動はなかった。一方、肥育牛については、令和6年度は発動がなかった。

本県の令和5年農業産出額は879億円で、前年に比べ11億円(1.2%)減少した。畜産部門については393億円で、前年に比べ19億円(4.6%)減少した。品目別では、農業全体で肉用牛が前年を32億円(16.7%)減少し162億円で第2位、豚は増減無く120億円で第3位を維持している。また、鶏卵は48億円で増減無し、生乳は33億円で1億円減少した。

令和6年度は、観光産業や外食産業を中心に需要回復してきたが、円安、長期にわたる配合飼料などの生産資材価格の高騰及び物価高騰による消費者の節約志向の高まりに起因する特に和牛肉の需要減少などが続き、畜産経営は依然として厳しい環境下にあった。

当公社では、国や県と連携して、経営安定対策事業により肥育牛及び肉用牛子牛に対して価格差補填を実施した。畜産物の消費促進の取り組みとして、30周年を迎える「ま～さん」印の記念事業としてテレビやラジオ等のCM、こども食堂への県産畜産物の寄贈、沖縄県女性連合会が主催する「女性の主張大会」において参加者への鶏卵の無料配布を実施した。あわせて第50回沖縄県畜産共進会において「出張ま～さん市場」を、「沖縄花と食のフェスティバル2025」において「ま～さん市場」を出店し、県産食肉等の消費拡大活動を実施し、畜産情報発信コーナーでは、消費者に対して畜産の現状説明や獣医師確保対策の紹介などを行った。

事業部門においては、令和6年度も、国、県及び独立行政法人農畜産業振興機構等による支援の下、肉用牛対策、養豚対策及び消費拡大対策等の事業を積極的に実施し総合計は2,923,361千円であった。

事業別内訳をみると、「1 家畜・畜産物の価格安定事業」の事業費は 1,397,907 千円であった。子牛取引価格は下落し発動基準価格を下回ったため、肉用子牛生産者補給金制度の補給金を 797,714 千円、雌子牛に対し沖縄県和牛子牛価格安定特別対策事業で 446,655 千円を交付した。肉用牛肥育経営安定交付金制度及び肉豚経営安定交付金制度は発動がなく、積立金支出等でそれぞれ 6,229 千円及び 116,548 千円であった。

「2 家畜・畜産物の改良及び需給調整事業」の事業費は、40,901 千円であった。内訳は、県産農林水産物輸出体制構築事業 8,939 千円、家畜改良促進事業 3,710 千円（全国畜産共進会協議会負担金 2,000 千円及び沖縄県畜産共進会協議会負担金 1,710 千円）であった。畜産物需給総合調整事業では、県産食肉等消費促進支援事業 28,252 千円により「うちなーいい肉の日」等のイベントの開催や県農林水産物販売促進協議会等負担金支出などを行った。

「3 地域・畜産業振興総合対策に関する公社事業」の事業費は、2,641 千円であった。地域・畜種毎の課題解決に向けた新たな取り組みに支援する地域・畜産業振興施策スタートアップ事業は 2,641 千円であった。

「4 畜産経営体の経営安定、生産技術の向上及び家畜防疫に関する事業」の事業費は 1,481,912 千円であった。子牛価格の下落に伴い、和子牛生産者臨時経営支援事業において令和 5 年度第 4 四半期における発動額 209,071 千円を、令和 6 年度第 1 四半期から第 3 四半期までの発動は沖縄県優良和牛子牛生産緊急支援事業により 490,250 千円を、あわせて雌子牛に対しては沖縄県和牛子牛生産者緊急支援事業で 413,994 千円の補助金を交付した。その他の主な事業については、農畜産業振興機構からの補助事業として、家畜市場の活性化を図るための購買者に対する購買助成、肉用牛ヘルパー利用組合等の活動経費に対する助成等の沖縄県肉用牛経営安定対策補完事業 322,258 千円及び畜産特別資金借受者への推進指導事業である畜産特別資金推進指導事業 2,261 千円を実施した。

また、受託事業として、(公社)中央畜産会から畜産クラスター関連事業の畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 3,514 千円、沖縄県から県産肥育牛ブランド力強化事業 10,357 千円、県内畜産経営体の経営診断分析や経営及び生産技術の高度化を図るための支援指導事業である畜産経営技術改善指導事業 2,328 千円を実施した。

## < 事業別概要 >

### 1. 家畜・畜産物の価格安定事業

#### (1) 肉用子牛生産者補給金制度 (農畜産業振興機構)

##### 1) 肉用子牛生産者補給交付金 797,714,100 円

肉用子牛生産安定等特別措置法に基づいて、肉用子牛の価格が保証基準価格（黒毛和種 564,000 円、乳用種 164,000 円、交雑種 274,000 円）を下回った場合に肉用子牛の生産農家に対し生産者補給金を交付すること等により、肉用子牛の生産及び価格の安定を図りもって肉用牛経営の健全な発展に資するための事業である。

令和 6 年度は、黒毛和種について、第 1 四半期から第 3 四半期まで平均売買価格が保証基準価格を下回ったことから、第 1 四半期は 1,303 名の 6,116 頭に対し、138,221,600 円を、第 2 四半期は 6,205 名の 65,100 頭に対し、403,945,500 円を、第 3 四半期は 1,333 名の 6,070 頭に対し、255,547,000 円の補給金が発動された。

なお、肉用子牛の 1 月から 12 月までの個体登録頭数は、黒毛和種は 26,848 頭、乳用種は 1 頭、交雑種は 96 頭、合計 26,945 頭となっている。

事業の実績は、下記のとおりである。

#### ア 生産者補給金交付契約締結状況

(単位：戸)

契約区分	繁殖	酪農	一貫	哺育	合計
個人	2,146		8		2,154
農協					
農協連					
農事組合法人	2				2
株式会社	41		1		42
有限・合名・合資会社	43		3		46
民法法人					
合計	2,232		12		2,244

#### イ 事務委託先契約締結状況

(単位：件)

事務委託先	事務委託先数	備考
総合農協	1	(支所等 13カ所)
専門農協		
農協連		
その他		
合計	1	

※ () 番号は、事業一覧の事業番号を記載している。

ウ 契約肉用子牛個体登録頭数の内訳

(単位：頭)

区分 品種区分	令和6年 1月1日～ 3月31日	令和6年 4月1日～ 6月30日	令和6年 7月1日～ 9月30日	令和6年 10月1日～ 12月31日	令和6年 1月～12月 合計
黒毛和種	6,762	6,909	6,721	6,456	26,848
乳用種	0	0	1	0	1
乳交雑種	15	41	37	3	96
合計	6,777	6,950	6,759	6,459	26,945

エ 保証基準価格と合理化目標価格

(単位：円)

品種区分	保証基準価格	合理化目標価格	備考
黒毛和種	564,000	444,000	
褐毛和種	514,000	404,000	
その他の肉専用種	328,000	258,000	
乳用種	164,000	110,000	
乳交雑種	274,000	216,000	

オ 指定肉用子牛の規格

肉用子牛の種別	体 重	
黒毛和種	230キログラム以上	350キログラム以下
褐毛和種	240キログラム以上	370キログラム以下
無角和種	220キログラム以上	330キログラム以下
日本短角種	180キログラム以上	310キログラム以下
アンガス種及びヘレフォード種	260キログラム以上	310キログラム以下
ホルスタイン種(雌を除く)	240キログラム以上	360キログラム以下
ホルスタイン種を母とする交雑種	270キログラム以上	370キログラム以下

※令和5年一部改正

カ 平均売買価格

(単位：円)

区 分	品種区分				
	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	乳交雑種
令和6年1月1日～3月31日	562,200	585,300	—	173,600	347,700
令和6年4月1日～6月30日	541,400	606,100	—	177,500	318,500
令和6年7月1日～9月30日	498,900	649,800	—	201,700	299,500
令和6年10月1日～12月31日	521,900	677,100	278,100	201,300	329,400

※平均売買価格は、農林水産大臣の指定する家畜市場における指定肉用子牛の四半期毎の平均価格

※「その他肉専用種」については、令和2年度から算定期間を1年(4月～3月)としている。

キ 生産者積立金造成内訳

品 種	区 分	契 約 頭 数	積 立 単 価	積 立 所 要 額	負 担 区 分		
					農 畜 産 業 振 興 機 構	沖 縄 県	生 産 者
		頭		円	円	円	円
黒毛和種	1～12月	26,848	1,600	42,956,800	21,478,400	10,739,200	10,739,200
乳用種	1～12月	1	6,800	6,800	3,400	1,700	1,700
乳交雑種	1～12月	96	3,200	307,200	153,600	76,800	76,800
合 計		26,945	—	43,270,800	21,635,400	10,817,700	10,817,700

参 考

1. 負担区分：機構 1/2, 県 1/4, 契約生産者 1/4
2. 契約生産者の1頭あたり積立金額：

区 分	負 担 金		備 考
	令和6年1月～令和6年12月		
黒 毛 和 種	400円		
乳 用 種	1,700円		
乳 交 雑 種	800円		

ク. 生産者積立金及び生産者積立準備金造成状況

(単位：円)

区 分		保証基準価格の品種区分			合 計			
		黒 毛 和 種	乳用種	乳交雑種				
I 期 首 残 額	1 生産者積立金		150,152,079	244,000	2,292,800	152,688,879		
	2 生産者積立準備金					441,131,175		
	内	3 生産者の負担金充当分					177,946,127	
		4 都道府県の生産者積立助成金充当分					263,185,048	
		5 農畜産業振興機構の生産者積立助成金充当分					0	
II 生 産 者 積 立 金 積 立 実 績	6 生産者積立金純増加額 (9+12+15+18)		29,042,800	5,100	230,400	29,278,300		
	7 生産者積立準備金からの繰入額 (10+13+16)		13,914,000	1,700	76,800	13,992,500		
	8 計		42,956,800	6,800	307,200	43,270,800		
	内	9 負 担 金		7,564,400	1,700	76,800	7,642,900	
		生産者	10 生産者積立準備金3からの繰入額		3,174,800	0	0	3,174,800
			11 小 計		10,739,200	1,700	76,800	10,817,700
	都道府県	12 生産者積立助成金		0	0	0	0	
		13 生産者積立準備金4からの繰入額		10,739,200	1,700	76,800	10,817,700	
		14 小 計		10,739,200	1,700	76,800	10,817,700	
	機 構	15 生産者積立助成金		21,478,400	3,400	153,600	21,635,400	
		16 生産者積立準備金5からの繰入額		0	0	0	0	
		17 小 計		21,478,400	3,400	153,600	21,635,400	
		18 生産者積立金とすることを指定して寄付又は補助された財産					0	
	III 他 の 資 金 か ら の 繰 入 状 況	19 特別の積立金から生産者積立金への繰入額					0	
		20 調整積立金から生産者積立金への繰入額					0	
		21 生産者補給金に充てるための全国協会等からの借入金額					0	
		22 生産者積立金に係わる運用果実		135,717			135,717	
		23 償還円滑化積立金から生産者積立金への繰入額					0	
24 生産者補給金交付額21を含む					0			
25 生産者積立金からの借入金返済額					0			
26 その他資金からの繰入による借入金返済額 (ほか債務減免額)					0			
27 生産者積立金から生産者積立準備金への繰入額		193,244,596	250,800	2,600,000	196,095,396			
28 生産者積立準備金に係わる運用果実					259,018			
29 生産者積立準備金から償還円滑化積立金への繰入額					0			
30 生産者積立準備金からの返還額 (生産者分)					0			
31 生産者積立準備金からの返還額 (都道府県分)					0			
32 生産者積立準備金からの返還額 (機構分)					0			
IV 期 末 残 額	33 生産者積立金 (1+8+19+20+21+22+23-24-25-26-27)		0	0	0	0		
	34 生産者積立準備金 (2-7+27+28-29-30-31-32)					623,493,089		
	内	35 生産者の負担金充当分					223,899,660	
		36 都道府県の生産者積立助成金充当分					301,545,731	
37 農畜産業振興機構の生産者積立助成金充当分					98,047,698			

ケ. 特別の積立金造成状況

(ア) 特別の積立金（黒毛和種）

(単位：円)

区 分		黒毛和種	乳用種	乳交雑種	計	備 考
期 首 残 高		0	—	—	0	
増	積 立 金	0	—	—	0	
	運 用 益	0	—	—	0	
加 小 計		0	—	—	0	
減	価格安定事業勘定へ繰入	0	—	—	0	
	小 計	0	—	—	0	
期 末 残 高		0	—	—	0	

(イ) 特別の積立金（乳用種）

(単位：円)

区 分		黒毛和種	乳用種	乳交雑種	計	備 考
期 首 残 高		—	1,382,701	—	1,382,701	
増	積 立 金	—	0	—	0	
	運 用 益	—	0	—	0	
加 小 計		—	0	—	0	
減	償還円滑化積立金へ繰入	—	0	—	0	
	小 計	—	0	—	0	
期 末 残 高		—	1,382,701	—	1,382,701	

コ. 償還円滑化積立金の造成状況

(単位：円)

区 分	令和6年度				備 考
	黒毛和種	乳用種	乳交雑種	計	
期首の借入金残額		—	0	—	0
期首の償還円滑化積立金の残高		—	5,194	—	5,194
積 償 立 還 金 円 実 滑 績 化	機 構	—	0	—	0
	都道府県	—	0	—	0
	生産者	—	0	—	0
	生産者団体	—	0	—	0
合 計		—	0	—	0
全国協会への償還額		—	0	—	0
運 用 益		—	0	—	0
当 期 借 入 金		—	0	—	0
期末償還円滑化積立金の残高		—	5,194	—	5,194
期末の借入金残高		—	0	—	0

サ. 生産者補給交付金交付状況

(単位：円、頭、人)

区 分		保証基準価格の品種区分		黒毛和種	乳用種	乳交雑種	合 計	
令和5年度	第4半 期	令和6年 1月1日 ～	交付対象	販 売	0	0	0	0
			頭 数	保 留	0	0	0	0
			①	合 計	0	0	0	0
	令和6年 3月31日	②	生産者補給金単価	0	0	0		
		③	生産者補給金交付額 (①×②)	0	0	0	0	
			交付対象生産者数	0	0	0	0	
令和6年度	第1半 期	令和6年 4月1日 ～	交付対象	販 売	5,534	0	0	5,534
			頭 数	保 留	582	0	0	582
			①	合 計	6,116	0	0	6,116
	令和6年 6月30日	②	生産者補給金単価	22,600	0	0		
		③	生産者補給金交付額 (①×②)	138,221,600	0	0	138,221,600	
			交付対象生産者数	1,333	0	0	0	
令和6年度	第2半 期	令和6年 7月1日 ～	交付対象	販 売	5,544	0	0	5,544
			頭 数	保 留	661	0	0	661
			①	合 計	6,205	0	0	6,205
	令和6年 9月30日	②	生産者補給金単価	65,100	0	0		
		③	生産者補給金交付額 (①×②)	403,945,500	0	0	403,945,500	
			交付対象生産者数	1,356	0	0	1,356	
令和6年度	第3半 期	令和6年 10月1日 ～	交付対象	販 売	5,364	0	0	5,364
			頭 数	保 留	706	0	0	706
			①	合 計	6,070	0	0	6,070
	令和6年 12月31日	②	生産者補給金単価	42,100	0	0		
		③	生産者補給金交付額 (①×②)	255,547,000	0	0	255,547,000	
			交付対象生産者数	1,333	0	0	1,333	
合 計	交付対象 頭 数 ①	販 売	16,442	0	0	16,442		
		保 留	1,949	0	0	1,949		
		合 計	18,391	0	0	18,391		
	②	生産者補給金単価(平均)	—	—	—			
	③	生産者補給金交付額 (①×②)	797,714,100	0	0	797,714,100		
		交付対象生産者数 (のべ)	4,022	0	0	0		

2) 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業 30,761,329 円

ア 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業 24,929,285 円

当制度に係わる業務の適正な実施等を図るため、全国統一電算事務処理システムによる業務の充実と、事務委託先との対象子牛の個体登録、個体識別及び保留確認等の業務の委託契約により適正かつ円滑な実施に努めた。

また、黒毛和種における補給金の発動に円滑に対応出来るよう、適正な実施体制の確保を図るため、事務委託先との関係強化を図るための現地指導調査や事業説明会等を開催した。

イ 指定協会運営体制支援事業 5,832,044 円

肉用子牛生産者補給金制度の円滑な実施体制の確保を図るため、農畜産業振興機構より財政支援を得て運営体制の強化を図った。

(2) 沖縄県和牛子牛価格安定特別対策事業 (沖縄県)

446,655,000円

県内の肉用子牛価格の低迷を緩和するため、規格雌子牛（黒毛和種）の標準取引価格が、公社の定めた保証基準価格を下回った時に生産農家に補てん金を交付し、肉用牛繁殖農家の経営安定に資するための事業である。

令和6年は、全期間を通じて、標準取引価格が保証基準価格を下回って推移したため、補てん金の発動となったが、補てん額単価上限の55千円を超えた部分を沖縄県和牛子牛生産者緊急支援事業(県事業)で交付した。

○令和6年の取引状況

(単位：円)

区 分		沖縄県和牛子牛価格安定特別対策事業 に係る規格子牛価格と補てん単価						交付額				
年度	品種	月 別	県内指定市場	標準取引	保証基準 価格B	差額 C=B-A	補てん単価 D=C×0.9	交付 頭数	交付額			
			規格子牛 平均価格 (参考)	規格雌子 牛価格A					交付総額	うち緊急支援	うち県和牛	
令和 6年 度	黒 毛 和 種	1月	520,359	467,820								
		2月	520,605	452,508								
		3月	530,693	458,686								
		前年度 第4四半期	523,836	<b>459,913</b>	<b>527,000</b>	67,087	60,300	2,729	164,558,700	164,558,700	0	
		4月	527,733	454,959								
		5月	443,189	394,851								
		6月	486,078	425,236								
		第1四半期	485,548	423,977	<b>550,000</b>	126,023	113,400	2,656	301,190,400	155,110,400	146,080,000	
		7月	443,006	387,578								
		8月	444,277	382,954								
		9月	439,424	379,587								
		第2四半期	442,100	383,277	<b>550,000</b>	166,723	115,600	2,747	317,553,200	166,468,200	151,085,000	
		10月	433,554	375,512								
		11月	442,819	392,607								
		12月	502,830	457,454								
		第3四半期	458,206	<b>406,042</b>	<b>550,000</b>	143,958	115,800	2,718	314,744,400	165,254,400	149,490,000	
		合計							<b>10,850</b>	<b>1,098,046,700</b>	<b>651,391,700</b>	<b>446,655,000</b>

○保証基準価格：平成31年4月から477,000円。令和5年4月から527,000円。令和6年4月から550,000円。

○標準取引価格：指定家畜市場（南部、伊江村、宮古、八重山、今帰仁、黒島）の雌規格子牛価格の加重平均を移行。

○規格子牛：体重230kg以上～350kg以下 日齢12ヶ月未満 品種黒毛和種

○補填単価の算定は4半期毎のため、毎月の平均価格等は参考。

○価格は税込み

○補給金制度の補てん金と重複があったため補てん単価は、第2四半期115,600円、第3四半期115,800円となった。

### (3) 肉用牛肥育経営安定交付金制度 (農畜産業振興機構)

肉用牛肥育経営は、素牛の導入から肥育牛の出荷まで一定期間を要し、かつ、生産費用に占める素畜費の割合が大きいことから、素牛価格と枝肉価格の水準によって経営収支の悪化が懸念される。

本制度は、肉用牛肥育経営安定基金を設け、肥育経営の収益性が悪化した時に肥育牛補填金を交付することにより肉用牛肥育経営の安定を図り、肉用牛生産基盤の拡大に資することを目的に実施した。

#### ア 令和6年度肉用牛肥育経営安定交付金制度

(令和6年4月～令和7年3月)

契約生産者農家数 35 戸

肥育牛積立頭数 2,771 頭

基金造成額 1,385,000 円

(生産者 12,220,110円、沖縄県 1,634,890円)

補填金交付実績 0円

#### イ 肉用牛肥育経営安定交付金制度 (業務委託費) 6,229,469円

令和6年度(令和6年4月～令和7年3月)肉用牛肥育経営安定交付金制度の円滑な推進を図るため、推進会議等を開催するとともに、調査及び指導、事業の普及・啓発活動、肥育牛の個体登録・販売等の事務を推進した。

**(4) 肉豚経営安定交付金制度 (農畜産業振興機構)**

116,548,000 円

肉豚経営安定交付金制度は、独立行政法人農畜産業振興機構の事業で平成30年12月30日から畜産経営に関する法律制度に移行、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に肉豚の生産者に対し、その差額の9割を交付金として交付することにより、肉豚生産者の経営を及ぼす影響を緩和することを目的とする制度である。

なお、令和6年度については、各半期ごと標準的販売価格が上回った為、補填金の交付はなかった。

月別	対象頭数	補填金		負担金単価 (円/頭)			負担金総計
		単価	補填金額	生産者 295円	県 50円	公社 55円	
1四半期 (4~6月分)	72,392	0	0	21,355,640	3,619,600	3,981,560	28,956,800
2四半期 (7~9月分)	71,302		0	21,034,090	3,565,100	3,921,610	28,520,800
3四半期 (10~12月分)	74,209		0	21,891,655	3,710,450	4,081,495	29,683,600
4四半期 (1~3月分)	73,467		0	21,672,765	3,673,350	4,040,685	29,386,800
合計	291,370		0	85,954,150	14,568,500	16,025,350	116,548,000

肉豚経営安定交付金制度年度別実績の推移

県内における肉豚生産量は、と畜頭数276,465（対前年比93.01.％）と前年度を下回った。

年度	肉豚経営安定交付金制度			と畜実績		
	補てん頭数 (頭)	補てん金額 (千円)	補てん単価/ 頭 (円/頭)	と畜頭数 (頭)	枝肉重量 (kg)	平均枝重 (kg/頭)
15	142,954	336,714	2,355	374,173	29,402,953	78.6
16	55,447	93,351	1,684	356,504	27,459,733	77.0
17	38,712	30,894	798	324,134	25,096,838	77.4
18	32,789	18,869	575	326,613	25,265,363	77.4
19	0	0	0	325,003	24,635,753	75.8
20	161,786	258,772	1,599	324,269	24,614,715	75.9
21	301,088	461,490	1,533	354,268	27,290,602	77.0
22	312,963	258,017	824	366,349	28,856,058	78.8
23	329,767	447,919	1,358	353,315	28,201,328	79.8
24	322,041	788,454	2,448	350,824	28,573,869	81.4
25	0	0	0	332,258	26,713,543	80.4
26	0	0	0	310,833	24,680,140	79.4
27	0	0	0	312,107		
28	0	0	0	316,268		
29	0	0	0	331,481		
30	0	0	0	337,175		
元	0	0	0	318,968		
2	0	0	0	313,636		
3	0	0	0	313,146		
4	0	0	0	311,692		
5	0	0	0	297,245		
6	0	0	0	276,465		
合計	1,697,547	2,694,480	1,587	7,226,726	320,790,895	78.2

\*と畜実績は与那国を含まない。平成27年度より枝肉重量データは、廃止とした。

- \* 昭和62年度～平成12年度：豚価安定対策事業
- \* 平成13年度～平成19年度：肉豚価格安定対策事業（地域肉豚生産安定基金造成事業）
- \* 平成20年度～平成21年度：肉豚価格安定対策事業（肉豚価格差補てん緊急支援特別対策事業）
- \* 平成22年度～平成30年度：養豚経営安定対策事業
- \* 令和元年度～令和6年度：肉豚経営安定交付金制度

## 2. 家畜の改良及び畜産物の需給調整、消費促進に関する事業

### (5) 県産農林水産物輸出体制構築事業 (沖縄県) 8,939,550 円

県産畜産物の輸出量拡大を推進するため、豚肉や牛肉、鶏肉、鶏卵、県産食肉を使用した加工品等の定番化に向けた継続的な販促活動及び販路拡大のための新規市場調査を実施した。

- ・香港 (6件) : 現地視察・商談・市場調査等、販促プロモーション
- ・台湾 (2件) : 現地商談、販促プロモーション
- ・台湾+タイ (1件) : 現地商談、販促プロモーション
- ・タイ (1件) : 取引先との商談
- ・シンガポール (2件) : 現地商談、船内プロモーション

### (6) 家畜改良促進事業 (公社独自事業) 3,710,000 円

1) 全国畜産共進会協議会負担金 2,000,000 円  
5年ごとの祭典である全国和牛能力共進会に本県から出品するための協議会への負担金

2) 沖縄県畜産共進会協議会負担金 1,710,000 円  
沖縄県畜産共進会協議会が行う沖縄県畜産共進会開催のための協議会への負担金

### (7) 畜産物需給総合調整事業 (公社独自事業) 28,252,164 円

1) 県産食肉等消費促進対策事業 25,552,164 円

県産畜産物の消費拡大、販売促進等を目的とした広報宣伝、畜産物PR、その他販売促進活動(催事)等を実施。「ま～さんシール」の作成や「ま～さん市場」を開催するなど、県産畜産物の消費拡大を図った。

[主な販促活動内容]

- ・「ま～さん印」発行30周年記念企画プロモーション 13,826,503 円
  - ・畜産農家応援プロジェクトCM
  - ・BBQで県産食肉等の販売促進
  - ・畜産共進会同時開催親子体験イベント
  - ・県産畜産物消費促進の情報発信および広報 (CM、ラジオ、新聞、SNS)
  - ・出張ま～さん子ども食堂

- ・子ども食堂への県産畜産物寄贈 90,750 円

子ども達の明るい未来作りと今後の畜産業界の発展のため、子ども食堂への県産畜産物を寄贈する取組を支援した。

- ・女性の主張中央大会への鶏卵提供 65,934 円  
県産畜産物の認知度向上と消費促進を図り、飼料価格高騰の影響を受けた生産者を支援するため、沖縄県婦人の主張大会において参加者へ鶏卵を配布し、理解を求めた。

- ・「まーさん市場」(おきなわ花と食フェスティバル2025) 9,547,620 円  
開催期日: 令和7年1月18日～令和7年1月19日  
開催場所: 奥武山総合運動公園  
出展団体: 14団体(牛肉、豚肉、鶏肉、牛乳、畜産物加工品)  
主な内容: 「おきなわ花と食のフェスティバル2025」内にて、畜産ブース「ま～さん市場」として、県産食肉及び加工品の試食・販売、畜産情報発信コーナーにて、パネル展示・クイズゲームを実施した。

- ・その他 2,021,357 円
  - ・ま～さんロゴシール印刷 350万 枚
  - ・ま～さんだより発行
  - ・協賛広告(沖縄畜産研究会誌59号、新春広告)

2) 沖縄県農林水産物販売促進協議会等負担金 2,700,000 円

沖縄県産農林水産物の消費・需要の拡大及び生産振興を図ることを目的として設立された沖縄県農林水産物販売促進協議会及び沖縄県産食肉等消費拡大推進協議会に対する負担金等。

### 3. 地域・畜産業振興総合対策に関する公社事業（公社独自事業）

#### （8）離島地域畜産活性化施設整備事業フォローアップ事業 0円

公社が実施した離島畜産活性化施設整備事業で整備した食肉センターの運営について、経営改善等の対策が必要なことから、市町村や農協の地域関係機関等が連携し経営体質の強化を図るために必要な各種取組に対して支援を実施する。

#### （9）地域・畜産業振興施策スタートアップ事業 2,641,905円

島嶼県である本県にあっては、地域または地域内の畜種毎に異なる課題を抱えていることから、地域内の生産者および関係機関等が課題解決のため連携して実施するモデル的な取組に対して支援を実施する。

令和6年度事業対象一覧

##### （1. 畜産活性化対策事業（地域・畜種））

事業実施主体	対象課題	実施内容	助成費
与那国町畜産振興推進協議会	老朽化により水が供給できていない地域への配水体制の構築による労働負担軽減	配水および水運搬体制の整備のため、協議会へ4t散水車の導入を行った。	681,818
合計			681,818

##### （2. 畜産振興対策）

令和6年度実施なし

##### （3. 販売流通促進対策）

事業実施主体	対象課題	実施内容	助成費
沖縄県酪農農業協同組合	県外産乳の流入、給食休み期間の牛乳消費量低下、県内産乳余剰	牛乳消費のための販促資材を作成し、イベント等で周知活動を行い県内産乳の優先消費をPRした。	337,500
J A石垣牛肥育部会	「石垣牛」の販売促進、一般消費者への地域ブランド周知普及	「石垣牛」のラジオ・SNS広告、離島フェア、東京でのOKINAWAまつり出展、台湾にて八重山フェアを実施し、県内外および国外の一般消費者等への周知普及を図った。	1,622,587
合計			1,960,087

#### 4. 畜産経営体の経営安定、生産技術の向上及び家畜防疫に関する事業

##### (10) 沖縄県肉用牛経営安定対策補完事業 (農畜産業振興機構)

322,258,802 円

機構補助金 (322,258,802円)

本県の肉用牛は、農業の基幹部門として極めて重要な作目となっているが、その生産の主体は本県の離島地域における子牛生産および域外供給となっている。そのため、島嶼性からくる生産不利条件の緩和を図る必要があるとともに、近年の生産者の高齢化や担い手不足に対処することで、安定的な肉用牛経営の実現を図るための事業である。

##### ア 事業内容

###### ①中核的担い手育成増頭推進

地域の中核的担い手が計画的に優良な繁殖雌牛を増頭した増頭実績に応じた奨励金を交付する。

###### ②遺伝的多様性に配慮した改良基盤確保

地域において、多様な系統群の確保による改良基盤の強化を推進するため、導入計画に基づき、生産者集団等が雌牛を導入し、農業者等に一定期間貸し付けする場合に奨励金を交付する。

###### ③肉用牛ヘルパー推進

肉用牛の組織的な生産活動を推進し、労働負担の軽減を図るため、肉用牛ヘルパー利用組合等、肉用牛互助組織の活動経費に対し助成する。

###### ④肉用牛振興推進指導

肉用牛ヘルパー推進の事業を円滑に実施するための会議の開催、先進事例の調査、肉用牛ヘルパーの実態調査及び推進指導等を行う。

###### ⑤離島等及び山振地域における肉用牛推進

各家畜市場において、島外の購買者に対する購買助成、島外の子牛生産者に対する島外出荷助成を行う。

###### ⑥地域の特色ある肉用牛生産推進指導

離島等及び山振地域における肉用牛推進の事業を円滑に実施するための会議開催、推進指導等を行う。

##### イ 事業実績

###### (ア) 肉用牛生産基盤強化対策

肉用牛集団等	①中核的担い手育成増頭推進	②遺伝的多様性に配慮した改良基盤確保	③肉用牛ヘルパー推進	④肉用牛振興推進指導	合計
宮古和牛ヘルパー利用組合			11,644,775		11,644,775
久米島和牛ヘルパー組合			3,913,240		3,913,240
南部肉用牛ヘルパー組合			19,042,007		19,042,007
石垣島肉用牛ヘルパー組合			18,178,519		18,178,519
伊江村肉用牛ヘルパー組合			3,908,950		3,908,950
北部肉用牛ヘルパー利用組合			9,784,698		9,784,698
黒島肉用牛生産組合			2,127,504		2,127,504
沖縄県農業協同組合	0	0			0
沖縄県畜産振興公社				3,628,113	3,628,113
計	0	0	68,599,693	3,628,113	72,227,806

###### (イ) 地域の特色ある肉用牛振興対策

肉用牛集団等	⑥離島等及び山振地域における肉用牛推進	⑦地域の特色ある肉用牛生産推進指導	計
	離島等子牛流通活性化		
沖縄県農業協同組合	247,705,600		247,705,600
沖縄県畜産振興公社		2,325,396	2,325,396
計	247,705,600	2,325,396	250,030,996

(11) 畜産経営災害総合緊急支援事業 (農畜産業振興機構) 0円

台風等の災害により被災した生産者に対し、経営継続のための畜舎及び機械設備等の補改修等並びに災害等による停電時における家畜の生命維持に要する機器の稼働のための災害用電源確保の整備のための支援を行う。

(12) 畜産経営技術改善指導事業 (沖縄県) 2,328,000円

この事業は、畜産経営体の経営・生産技術の高度化を図るため、支援指導体制の確立、専門家による支援指導、畜産経営に必要な関係情報の提供等を行う事業であり、事業の内容並びに実施状況は次のとおりである。

ア. 畜産経営技術の支援指導の実施

(ア) 畜産コンサルタント団の設置

畜産コンサルタント6人、非常勤畜産コンサルタント4人 計10人

(イ) 個別支援指導

畜産経営体等からの要請内容に応じて畜産コンサルタント団を編成し、畜産農家に対して総合的な経営診断分析を行い、畜産経営技術の高度化を図り、生産性の向上並びに所得の高い安定した経営体を確立するための個別支援・指導を行った。

個別支援指導実績

個別指導内容	畜 種 別				計
	肉用牛	酪 農	養 豚	採卵鶏	
総合診断指導	3 件	1 件	0 件	0 件	4 件
部門診断指導	14 件	0 件	0 件	0 件	14 件
計	17 件	1 件	0 件	0 件	18 件

イ. 畜産経営技術の支援指導の推進

(ア) 地域支援指導

講習会の開催：2回

開催日時 令和6年9月13日(金) 10:00~12:00  
開催場所 沖縄県男女共同参画センターていりる 3階 研修室1、2  
参加人数 54人(現地28人、WEB26人)  
内 容 1. 経営改善計画書の作成について(解説編)  
2. 畜産特別資金の概要について  
3. 質疑、意見交換会

開催日時 令和7年1月22日(水) 13:30~15:30  
開催場所 公益財団法人 沖縄県畜産振興公社 4階 会議室  
参加人数 30人  
内 容 1. 経営改善計画書の作成について  
(パソコンを用いて実践編)  
2. 質疑、意見交換会  
3. その他

(イ) 研修会への参加

九州・沖縄ブロック経営診断業務スキルアップ研修会

日時 令和6年7月18～19日 13:30～翌12:00

場所 JAみやざき宮崎中央地区本部総合ファーム（肥育農場）  
宮崎県畜産協会 畜産会館3階会議室

内容 専門コンサルタントによる現地研修  
現地研修の報告書作成、発表

(ウ) 畜産経営指導関係資料等の配付

繁殖台帳を要望に応じて配布した（講習会参加者、コンサル指導対象農家、家畜保健衛生所、農業普及センター等）

**(13) 畜産特別資金等推進指導事業（中央畜産会） 2,261,666円**

畜産特別資金借受者の経営改善を図るため、生産者団体、金融関係団体、畜産指導団体をもって構成する畜産経営改善推進協議会を開催し統一的な指導方針のもとに融資機関に対する指導、並びに借受農家の経営分析等を行って濃密指導を行った。

ア. 畜産特別資金借受戸数及び新規計画作成支援実績及び借受農家指導実績

資金名	戸数	延べ指導回数	うち濃密指導
新規計画作成支援	2戸	2件	-
畜産経営維持緊急支援資金	11戸	13件	2戸
計	15戸	15件	2戸

イ. 協議会等の開催

(ア) 県推進協議会の開催：1回（8人）

(イ) 専門委員会の開催：1回（13人）

ウ. 借入者の進捗状況調査の実施

畜産特別資金借受者の令和6年12月末借入残高調査を実施した。

畜産特別資金借受者の借入残高調査：1金融機関（11戸）

エ. 経営改善の定期的な実績点検の実施

借受者の経営改善計画の達成度及び問題点の早期把握と改善対応に役立てるため、年2回（6月・12月）の実績点検を実施し、生産技術データや借受者の収入・支出状況の把握に務めた。

大家畜維持緊急支援資金の借受者3戸（上期3戸、下期2戸）

大家畜特別支援資金の借受者1戸（上期1戸、下期0戸）

オ. 借入者指導チェックリストによる融資機関への自己点検の実施

融資機関をはじめとする指導機関における指導体制・連携体制の確保・継続が重要であることため、借入者指導を行う金融機関・支店に対し、年1回の自己点検を実施し、安定的な指導体制の構築に務めた。

大家畜維持緊急支援資金の借受者管轄支店 1 融資機関 2 支店

#### カ. 研修会の開催

沖縄県内の金融機関・指導機関のスキルアップを目的とし、公益社団法人中央畜産会より講師を招聘し、畜産特別資金等の制度のあり方や借入者指導にかかる研修会を開催した。

開催日時 令和6年11月21日(木) : 00~12:00

開催場所 沖縄畜産振興支援センター 4階

参加人数 39人(現地19人、WEB20人)

内 容 1. 畜産特別資金制度の取扱いについて  
2. 質疑、意見交換会

#### (14) 貸付事業指導等事業 (近代化リース協会) 468,823 円

畜産近代化リース協会より畜産機械・施設等を借り受けている農家を対象に借り受け機械・施設等の確認及び管理状況の調査を行うとともに適正な利用について技術指導を行った。

ア. 貸付機械施設の確認等に係る調査・技術指導事業

(ア)貸付事業指導等事業推進会議の開催：1回開催(参加人数6人)

(イ)調査・指導農家等戸数及び調査件数：32農場等(74施設機械の調査指導)

イ. 新規開拓に係る調査事業

実績なし。

#### (15) 畜産担い手育成総合整備事業実施計画策定調査委託事業 (沖縄県)

0円

土地条件等からみて、今後とも畜産生産地として安定的な発展が見込まれる地域において、当事業参加予定肉用牛農家を対象にした経営概況の調査を行うとともに飼料基盤の開発整備、農業用施設の整備計画等の策定調査を実施し、畜産担い手育成総合整備事業の実施及び地域の実情に応じた生産性の高い畜産経営の確立に寄与する事業。今年度の実績はなかった。

ア. 肉用牛経営概況調査：肉用牛農家0戸

イ. 経営改善計画の作成：肉用牛農家0戸

内容：①粗飼料生産計画及び飼料給与計画、②肉用牛生産出荷計画、③事業資金計画、④資金借入及び償還計画、⑤経営収支計画、⑥資金運用計画、⑦ふん尿処理計画、⑧施設整備計画、⑨労働時間計画、⑩その他

#### (16) 家畜防疫互助基金支援事業 (中央畜産会) 2,388,490円

口蹄疫や豚熱、アフリカ豚熱等の伝染病が万一発生した場合、発生農場が経営再開までに必要な経費等を生産者が相互に支援するための仕組みについて、その趣旨、事業の内容等の周知徹底に努め、事業参加者に対し家畜防疫互助金交付契約の締結及び生産者積立金徴収等の推進業務を実施した。

・家畜防疫互助金の積立実績（令和6～8年度）

ア．豚互助基金

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	合計
積立額（円）		14,261,330	—	—	14,261,330
契約農家戸数（戸）		30	—	—	30
契約 頭 数	繁殖用雌豚（頭）	12,798	—	—	12,798
	繁殖用雄豚（頭）	401	—	—	401
	肥育豚（頭）	134,401	—	—	134,401
	合計（頭）	147,600	—	—	147,600

イ．牛互助基金

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	合計
積立額（円）		9,929,975	—	—	9,929,975
契約農家戸数（戸）		1,229	—	—	1,229
契約 頭 数	肉用牛（頭）	49,580	—	—	49,580
	乳用牛（頭）	2,999	—	—	2,999
	合計（頭）	52,579	—	—	52,579

前期事業対策期間（令和3年度～令和5年度）の牛の事業参加者へ生産者積立金の返戻を実施した。

- ・返戻対象者：944戸
- ・返戻額：7,959,718円

**(17) 家畜防疫・衛生指導対策事業（中央畜産会） 806,089円**

家畜伝染病の発生予防、まん延防止等を確実にかつ効率的なものとするため、国家防疫措置に併せて、地域における重要な家畜疾病を対象とした防疫演習を推進するとともに、家畜衛生の向上と家畜・畜産物の安全性を確保する上で重要なツールである農場HACCP認証に必要な農場での構築指導、認証取得の導入促進となる推進農場の構築手順の提供等、家畜衛生対策を総合的に実施した。

ア．地域自衛防疫推進事業

口蹄疫、豚熱、高病原性鳥インフルエンザ等の発生時の迅速かつ的確な防疫措置が実施できるよう、生産者段階での初動防疫体制の充実・強化を図るため、家畜保健衛生所等関係機関の協力のもと防疫演習を実施した。

(ア) 地域自衛防疫取組促進

①開催日時及び内容

令和6年9月、令和7年1月 地域自衛防疫推進会議

(イ) 地域自衛防疫活動推進

①開催日及び場所

令和6年10月 中央家畜保健衛生所（八重瀬町）

令和6年10月 宮古家畜保健衛生所（宮古島市）

令和6年10月 八重山家畜保健衛生所（石垣市）

②内容

- ・鳥インフルエンザ発生時における防疫ステーション仮設テントの設営訓練（消毒・資材搬出）
- ・消毒ポイント演習によるまん延防止対策強化及び防護服着脱演習
- ・養鶏農家における鳥インフルエンザ発生時の消毒ポイントの設営・運営演習

イ. 地域農場HACCP認証支援事業

(ア) 農場HACCP認証構築指導推進事業

①構築指導事業

農場認証に取り組む農場を対象に農場で構築指導を実施するとともに、既認証農場に対して内部検証等のフォローアップを行った。

(1戸・4回)

ウ. 地域推進事務

事業を円滑に実施するため、関係機関や団体等との連絡調整の推進事務を行った。

(18) 畜産クラスター全国推進事業に係る実態調査（中央畜産会）

480,000円

実態調査(1戸×80,000円)

畜産クラスターに係る取組を全国で推進するために必要な情報として、全国の先進的な経営体等を対象に経営内容に係る調査・取りまとめを行った。

- ①調査戸数 酪農1戸
- ②調査内容 経営の概要、当期生産費用と損益、投資・負担の概要  
生産技術、管理技術の概要等

機械導入前後事例調査(5戸×80,000円)

施設整備・機械導入が完了した経営の省力化機械等の導入前後の経営内容について調査を行い省力化機械等の導入効果や注意点などを整理し事例集として取りまとめ情報提供を行った。

- ①調査戸数 肉用牛殖5戸
- ②調査内容 機械導入前後の経営の概要、取組内容の結果及び留意点

(19) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 (中央畜産会)

3,514,976円

畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業のうち機械導入事業について、その円滑な実施を図るため、下記に掲げる事業の推進業務、事業参加要望書の取りまとめ業務などの推進業務を実施した。

① 県内における事業の推進業務 (事業説明会等)

事業説明会 3 回開催 参加人数 計 42 人

② 県内における事業参加要望書取りまとめ業務

年度	取組主体 件数	機械台数	要望金額計	補助金額計
令和 6 年度 (第 2 回)	22 件	44 台	146,053,050円	73,026,525円
令和 7 年度 (第 1 回)	15 件	19 台	93,544,455円	46,772,227円

③ 県内における事業参加申請書取りまとめ業務 (令和 6 年度)

取組主体数 25 件 (機械 56 台)

④ 県内における実績報告書取りまとめ業務 (令和 4 年度～6 年度分)

取組主体数 31 件 (機械 63 台)

事業費計	補助金額計
179,201,199円	89,509,689円

⑤ 県との協議に係る窓口業務 12 協議会

⑥ 県内における事業の執行に係る連絡・調整、データ整理及び調査業務

⑦ その他 (全国会議への出席等)

※(注)補助金は中央畜産会より交付されています。

(20) 獣医師養成確保修学資金給付事業 (農水省、沖縄県、農業共済)

3,360,000円

沖縄県内の産業動物に携わる獣医を安定的に確保するため、産業動物獣医師への就業を志す獣医修学生を対象に修学資金を給付する事業。令和 6 年度は、沖縄県農業共済組合に就業する予定である獣医修学生 2 名に対し、修学資金の給付を実施した。

(21) 産業動物獣医師確保修学資金給付事業 (沖縄県) 479,596円

獣医師養成確保修学資金給付事業を円滑に行うための推進事業

(22) 県産肥育牛ブランド力強化推進事業 (沖縄県、公社)

10,357,200円

県内の肉用牛肥育農家戸数及び飼養頭数は、平成21年度以降減少傾向にある。要因として、肉用子牛価格の高騰がある。本事業では、肥育農家に対し、優良な肥育素牛の活用による能力向上を支援するとともに、肥育技術研修、市場調査等により県産牛ブランド力を強化し肥育経営の安定化を図るため、肥育素牛導入に要する経費の一部補助を実施した。

事業費負担 (公社 5,178,600円、県 5,178,600円)

	戸数 (戸)	頭数 (頭)	奨励金単価 (頭/円)	交付額 (円)
県産肥育牛ブランド力強化事業	10	257	40,000	10,280,000
JA事務委託費		193	400	77,200
事業費合計				10,357,200

(23) 畜産経営体生産性向上対策事業 (中央畜産会)

12,313円

畜産経営体生産性向上緊急対策事業 (ICT化等機械装置等導入事業) について、事業実施手続等の効率化及び事業実施体制の強化を図るため、下記に掲げる業務を実施した。

- ① 県内における普及推進業務 (事業周知及び調整等)
- ② 県内における事業推進指導・内容確認業務

【参考】令和6年度 事業参加ICT応援会議数：0

(24) 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業 (中央畜産会)

12,313円

酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業について、その事業実施手続等の効率化及び事業実施体制の強化を図るため、下記に掲げる業務を実施した。

- ① 県内における普及推進業務 (事業周知及び調整等)
- ② 県内における事業推進指導・内容確認業務

【参考】令和6年度 事業参加楽酪応援会議数：0

(25) 地域畜産支援指導等体制強化事業 (中央畜産会) 2,876,000円

畜産関係団体・組織、生産者等に対して公社が実施する畜産関係諸施策事業の事業説明会を開催した。また、生産者等から経営、技術、制度、資金等、各種相談に応じるため、畜産コンサルタント、非常勤コンサルタントを中心に畜産経営窓口を設置し、指導・相談業務を実施した。

- ① 畜産関係団体調整機能強化のための旅費等

(伊江、名護、沖縄市、八重瀬、久米島、宮古、石垣、東京)

- ②経営指導のため専門家による指導・助言（専門家3名）
- ③関係機関及び団体等との相談業務

**(26) アグー豚増頭振興支援事業（沖縄県） 0円**

アグー種豚群を維持し、アグーの保全およびブランド振興を図るため、久米島で増殖したアグー種豚の普及のため、必要な経費の一部を負担する。

**(27) 優良繁殖雌牛更新加速化事業（全国肉用牛振興基金協会） 2,395,803円**

畜産クラスター計画に基づき、肉用牛の生産基盤の強化のため、高齢の繁殖雌牛から優良な若い繁殖雌牛に更新を推進するため、更新した実績に対して奨励金を交付する事業の推進、事業参加要望書及び実績の取りまとめ等の業務を実施した。

- ・協議会数 : 8 協議会
- ・奨励金交付戸数 : 278 戸
- ・奨励金対象牛 : 727 頭（10万円：631頭、15万円：96頭）
- ・奨励金総額 : 77,500,000円

**(28) 和子牛生産者臨時経営支援事業（農畜産業振興機構） 209,514,654円**  
**（※令和6年度は、第4四半期分のみ）**

市場等で取引される和子牛のブロック別平均価格（四半期別）が、発動基準を下回った場合に、事業に参加している和子牛生産者に対し、肉用子牛生産者補給金制度で登録された販売個体に対し支援交付金を交付した。

推進事業費：442,854円

（令和5年第4四半期分交付に係る令和6年第1四半期分の事務費）

支援交付金の内訳

単位：頭、円

時期	対象頭数	支援交付金単価	支援交付金額	備考
第1四半期 （令和5年4月～6月）	5,140	15,000	77,100,000	令和5年度
第2四半期 （令和5年7月～9月）	4,911	47,600	233,763,600	令和5年度
第3四半期 （令和5年10月～12月）	4,818	49,500	238,491,000	令和5年度
第4四半期 （令和6年1月～3月）	5,531	37,800	209,071,800	令和6年度
	20,400	—	758,426,400	

**(29) 優良和子牛生産推進緊急支援事業（農畜産業振興機構）**

492,664,403円

**（※第4四半期は令和7年度予算）**

市場等で取引される和子牛のブロック別平均価格（四半期別）が、発動基準を下回った場合に、飼養管理の向上に取り組む和子牛生産者を緊急的に支援することにより、肉用子牛の生産基盤を強化するため奨励金を交付した。

推進事業費：2,414,403円

（令和5年第4四半期分交付に係る令和6年第1四半期分の事務費）

支援交付金の内訳

単位：頭、円

時期		黒毛和種			合計
		奨励金 単価			
第1四半期 (令和6年4月 ～6月)	頭数	7	79	5,446	5,532
	小計	70,000	1,580,000	163,380,000	165,030,000
第2四半期 (令和6年7月 ～9月)	頭数	0	94	5,445	5,539
	小計	0	1,880,000	163,350,000	165,230,000
第3四半期 (令和6年10月 ～12月)	頭数	1	85	5,276	5,362
	小計	10,000	1,700,000	158,280,000	159,990,000
合 計	頭数	8	258	16,167	16,433
	小計	80,000	5,160,000	485,010,000	490,250,000

**(30) 家畜生産農場衛生対策事業（農水省）**

3,005,215円

家畜の健康確保及び畜産物の安定供給のため、ヨーネ病等の家畜伝染性疾病が発生している農場・地域が行う高度感染牛等の自主とう汰に対して、とう汰推進更新費補助を実施し早期の清浄化を図る。

推進事業費：703,319円

疾病対策実績の内訳

	とう汰頭数	とう汰推進費
ヨーネ病	1頭	112,108円
牛伝染性リンパ腫	7頭	2,189,788円

(31) 沖縄県和牛子牛生産者緊急支援事業 (沖縄県) 422,735,017円

配合飼料等の生産資材の価格高騰や肉用子牛取引価格下落に伴う畜産経営の影響を緩和し安定的な経営維持を図るため、沖縄県内の雌子牛平均販売価格が保証基準価格(550千円)を下回った場合に、その差額の9割を補填金として雌子牛を出荷又は保留した対象農家に対して、補助金として交付する事業である。また、事業内容に合わせて対象牛管理システムの改修も実施した。

推進事業費：8,740,417円(うちシステム改修費5,749,000円)

交付実績

時期	対象頭数	交付金単価 ※1	交付金額	備考
第1四半期 (令和6年4月～6月)	2,656	58,400	155,110,400	
第2四半期 (令和6年7月～9月)	2,747	60,600	166,468,200	
第3四半期 (令和6年10月～12月)	1,520	60,800	92,416,000	※2
合計	6,923	—	413,994,600	

※1：令和6年度事業では沖縄県和牛子牛価格安定特別対策事業の補てん額(55千円)との重複分を減額して交付した。

※2：令和6年度予算内では第3四半期全頭(2,718頭)を対象とできなかったため、一部(1,198頭・72,838,400円)は令和7年度予算で対応した。

## 5. その他畜産の振興及び指導に関する補完事業

### (1) 畜産振興補助事業 (地方競馬全国協会) 17,851,000円

国、県等の畜産振興諸施策を円滑に推進するため、各種事業を実施し、地域畜産に対する支援指導體制の強化及び畜産経営技術の高度化、地域畜産に対する消費者等への理解増進及び地域畜産の活性化、馬事・畜産の普及啓発を図った。

- ① 畜産経営の支援体制の強化を図る事業
- ② 地域畜産の活性化、安全かつ安全な食の提供に資するための事業
- ③ 馬事畜産普及啓発の推進体制の強化を図る事業

### (2) 馬事畜産振興協議会への協力

沖縄県馬事畜産振興協議会へ協力し、佐賀競馬で馬事畜産の普及啓発を行った。

#### ア. 冠競走の実施

第7回佐賀オータムスプリント競走、優勝馬主へ副賞(県産畜産物)を授与。

#### イ. 法人協賛特別競走の実施

「第9回沖縄まーさん杯、第10回沖縄まーさん杯」の2レース実施し、優勝馬主へ副賞(県産畜産物)を授与し、馬事畜産の普及啓発を行った。

#### ウ. 佐賀県馬事畜産振興協議会主催「畜産フェア2024」開催及び「ウェブde畜産フェア(2024.11.1~11.30)」の実施。

畜産フェアの賞品(沖縄県産の畜産物)の提供。

#### エ. 馬事畜産振興協議会主催「地方競馬ミルウィーク2025」の実施

① 佐賀競馬場にて、牛乳消費促進普及活動として牛乳の配布を行った。

② 冠レース(ちばりよー沖縄酪農応援賞)で優勝関係者(馬主・厩務員・調教師・騎手)へ副賞(沖縄県産乳製品)を授与し、馬事畜産の普及啓発を行った。

オ. 沖縄県畜産共進会会場にて「地方競馬振興のためのPR資料」を配布

## 6. 収益事業 14,432,466円

### (1) 沖縄畜産振興支援センター運営事業

- ・ 支援センターの事務所賃貸 11,789,800円
- ・ 支援センターの会議室賃貸 1,653,190円
- ・ 楽天モバイルアンテナ設置 954,360円

### (2) 図書販売受託事業

- ・ 中央畜産会が発刊する畜産関係図書の販売 35,116円

令和6年度事業費（実績）

（単位：千円）

事業名	実績額 R 6	実績額 R 5	増減額	
1. 家畜・畜産物の価格安定事業	1,397,907	557,732	840,175	
(1) 肉用子牛生産者補給金制度	828,475	399,008	429,467	
1) 肉用子牛生産者補給交付金交付	797,714	370,862	426,852	子牛価格が下落した場合、生産者に補給金を交付
2) 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業	30,761	28,146	2,615	肉用子牛生産者補給金制度の適正かつ円滑な実施体制の確保を図るための事業
(2) 沖縄県和牛子牛価格安定特別対策事業	446,655	31,200	415,455	雌子牛価格が下落した場合、生産者に補てん金を交付
(3) 肉用牛肥育経営安定交付金制度	6,229	13,788	-7,559	
1) 肥育牛補填金	0	7,619	-7,619	肥育牛の粗収益が生産費を下回った場合、生産者へ補てん金を交付する
2) 推進指導事務費	6,229	6,169	60	肉用牛肥育経営安定対策事業の円滑な推進を図るための事業
(4) 養豚経営安定交付金制度	116,548	113,736	2,812	農畜産業振興機構が実施する養豚経営安定交付金制度への積立金納付業務
2. 家畜の改良及び畜産物の需給調整、消費促進に関する事業	40,901	27,721	13,180	
(5) 県産農林水産物輸出体制構築事業	8,939	8,921	18	県産農林水産物の安定的な輸出体制構築のため、定番化プロモーション、ブランディング強化、輸出産地支援等を実施する事業
(6) 家畜改良促進事業	3,710	1,710	2,000	
1) 全国畜産共進会協議会負担金	2,000	0	2,000	全国和牛能力共進会への出展のための協議会への負担金
2) 沖縄県畜産共進会協議会負担金	1,710	1,710	0	沖縄県畜産共進会開催のための協議会への負担金
(7) 畜産物需給総合調整事業	28,252	17,090	11,162	
1) 県産食肉等消費促進対策事業	25,552	14,390	11,162	県産食肉等の消費促進活動を実施するのに要する経費に対する助成と、公社が行う販売促進事業
2) 沖縄県農林水産物販売促進協議会等負担金	2,700	2,700	0	県産畜産物の消費拡大を図るための県販売促進協議会等への負担金
3. 地域・畜産産業振興総合対策に関する公社事業	2,641	9,044	-6,403	
(8) 離島地域畜産活性化整備事業フォローアップ事業	0	473	-473	沖縄食肉価格安定等特別対策事業において整備した食肉センターの経営改善の取り組みについて、市町村・JA・地域関係機関を連携した支援を行う事業
(9) 地域・畜産産業振興施策スタートアップ事業	2,641	8,571	-5,930	地域・畜産毎の課題解決に向けた新たな取り組みについて、市町村・JA・地域関係機関を連携した支援を行う事業
1) 畜産活性化対策	681	6,762	-6,081	畜舎へ水の供給が来ていない地域において配水体制を構築し労働負担軽減を図るため、与那国町畜産振興推進協議会へ4t散水車の導入を支援した。
2) 畜産振興対策	0	0	0	
3) 販売流通促進対策	1,960	1,809	151	沖縄県酪農農業協同組合及びJ A石垣牛肥育部会が実施する販売促進活動（牛乳及び和牛肉）を支援した。
4. 畜産経営体の経営安定、生産技術の向上及び家畜防疫に関する事業	1,481,912	1,415,054	66,858	
(10) 肉用牛経営安定対策補完事業	322,258	328,077	-5,819	子牛の域外販売の促進、組織的な生産活動の推進等（ヘルパー活動）を図り、肉用牛の振興に資する事業
(11) 畜産経営災害総合緊急支援事業	0	0	0	災害等による停電時における家畜の生命維持に要する機械の稼働のための非常用電源の整備の整備に係る支援
(12) 畜産経営技術改善指導事業	2,328	2,615	-287	畜産経営体の経営診断分析を行い、経営及び生産技術の高度化を図るための支援指導事業
(13) 畜産特別資金等推進指導事業	2,261	1,726	535	畜産特別資金等の借受者に対する経営改善の促進の指導等
(14) 貸付事業指導等事業	468	510	-42	畜産近代化リース借受施設機械等の確認及び管理状況調査指導事業
(15) 畜産担い手育成総合整備事業実施計画策定調査委託事業	0	0	0	畜産担い手育成総合整備事業を実施するための飼料基盤の開発整備、事業計画を策定する事業
(16) 家畜防疫互助基金支援事業	2,388	1,600	788	家畜伝染病発生時の互助事業の普及・啓発を図る事業
(17) 家畜防疫・衛生指導対策事業	806	1,522	-716	家畜伝染病の発生予防・まん延防止のため、防疫演習などの自衛防疫活動の推進と農場HACCP認証の普及を図る事業
(18) 畜産クラスター全国推進事業に係る全国実態調査	480	80	400	全国の先進的な経営体等を対象に経営内容に係る調査及び機械導入前後事例調査取りまとめ業務
(19) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）	3,514	3,695	-181	畜産クラスター関連事業のうち機械導入事業の円滑な実施を図るための推進業務
(20) 獣医師養成確保修学資金給付事業	3,360	1,200	2,160	県内の産業動物に携わる獣医を安定的に確保するため、産業動物獣医師を志す獣医学生へ修学資金を給付する事業
(21) 産業動物獣医師確保修学資金給付事業	479	314	165	獣医師養成確保修学資金給付事業の円滑な推進を図るための事業
(22) 県産肥育牛ブランド力強化事業	10,357	14,384	-4,027	県内肥育農家の経営基盤強化及び県産牛肉の安定供給を図るため、肥育素牛導入の経費を一部助成する。

事業名	実績額 R 6	実績額 R 5	増減額	
(23) 畜産経営体生産性向上緊急対策事業（ICT事業）	12	59	-47	酪農経営体の労働負担軽減に資する機械装置導入事業の効率化及び実施体制の強化を図る業務
(24) 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業	12	59	-47	酪農家の労働力省力化推進に係る施設・機械装置整備事業の効率化及び実施体制の強化を図る業務
(25) 地域畜産支援指導等体制強化事業	2,876	2,500	376	畜産を取り巻く厳しい環境に対処するため、関係団体による地域の特性や地域の畜産の実態に即した連携及び活性化のための活動についての助成。
(26) アグー豚増頭振興支援事業	0	0	0	豚熱等の感染から守るため、県内離島へ避難させたアグーブランド豚の増頭振興を図るための必要な経費の一部について支援金を交付する。
(27) 優良繁殖雌牛更新加速化事業	2,395	2,558	-163	畜産クラスター計画に基づき、肉用牛の生産基盤の強化のため、高齢の繁殖雌牛から優良な若い繁殖雌牛に更新を推進するため、更新した実績に対して奨励金を交付する事業
(28) 和子牛生産者臨時経営支援事業	209,514	550,799	-341,285	子牛価格が堅調に推移するまでの間、セーフティネットを臨時的に措置し肉用子牛生産基盤の安定を図るため基準価格を下回った場合に支援金を交付する。（令和5年1月開始）
(29) 優良和子牛生産推進緊急支援事業	492,664	0	492,664	市場等で取引される和子牛のブロック別平均価格（四半期別）が発動基準を下回った場合に、飼養管理の向上に取り組む和子牛生産者に奨励金を交付し緊急的に支援した。
(30) 家畜生産農場衛生対策事業（疾病清浄化対策事業）	3,005	2,329	676	ヨーネ病、牛伝染性リンパ腫の清浄化対策を推進し、対象牛の早期とう汰に対して淘汰推進費を交付する。
(31) 沖縄県和子牛生産者緊急支援事業	422,735	436,263	-13,528	沖縄県内の雌子牛平均販売価格が保証基準価格（550千円）を下回った場合に、その差額の9割を補填金として雌子牛を出荷又は保留した対象農家に対して、補助金として交付する。
養豚生産性向上対策事業	0	64,764	-64,764	養豚経営における生産費の低減を図るため、産子数が多く飼養効率の優れた子豚を生産可能な高能力種豚の導入及び増殖に必要な経費の一部を補助。
総 合 計	<b>2,923,361</b>	<b>2,009,551</b>	<b>913,810</b>	
うち公社負担事業費	( 55,806 )	( 50,674 )	( 5,132 )	

## 2 主な処理事項

年 月 日	処 理 事 項
令和6年 5月28日	令和5年度決算監査
令和6年 6月 4日	令和6年度第1回理事会 審議事項 1 令和5年度事業報告及び決算報告の承認について 2 公益財団法人沖縄県畜産振興公社沖縄県和牛子牛価格安定特別対策事業業務方法書の一部改正について 3 令和6年度定時評議員会の開催について
令和6年 6月19日	令和6年度定時評議員会 審議事項 1 令和5年度決算報告の承認について 2 法人会計から公益目的事業会計への振替額(他会計振替)の承認について
令和6年 7月10日	令和6年度第2回理事会(決議の省略) 審議事項 1 沖縄県和牛子牛価格安定特別対策事業に係る保証基準価格及び補てん積立金の額の改定について 2 理事の補欠選任候補者の推薦について 3 令和6年度第1回臨時評議員会への提案について
令和6年 7月19日	令和6年度第1回臨時評議員会(決議の省略) 審議事項 1 理事の選任について
令和6年10月23日 ～29日	第50回沖縄県畜産共進会 枝肉部門開催
令和6年11月 3日	第50回沖縄県畜産共進会 種畜部門開催 「ま～さん印」発行30周年記念イベント
令和6年11月29日	うちなーいい肉の日 消費拡大街頭イベント 県民広場・パレットくもじ前

年 月 日	処 理 事 項
令和7年 1月18日 ～19日	おきなわ花と食のフェスティバル2025・まーさん市場開催 奥武山総合運動公園
令和7年 2月 3日	令和6年度第3回理事会（決議の省略） 審議事項 1 令和6年度事業計画の変更について 2 令和6年度第1次収支予算の補正について 3 肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る積立金を適切に管理 することのできると認められる「農林水産大臣が指定する 者」の再指定の申請について 4 公益財団法人沖縄県畜産振興公社業務規程（肉用子牛生産 者補給金制度）の一部改正について
令和7年 3月24日	令和6年度第4回理事会 審議事項 1 令和7年度事業計画及び収支予算の承認について 2 肉用子牛生産者補給金制度に係る肉用子牛1頭当たりの負 担金の額について 3 肉用子牛生産者補給金制度に係る事務の委託について 4 肉用子牛生産者補給金制度に係る手数料の徴収について 5 公益財団法人沖縄県畜産振興公社（肉用牛肥育経営安定交 付金制度）業務方法書の一部改正について 6 肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る手数料の徴収につい て 7 沖縄県和牛子牛価格安定特別対策事業に係る補てん積立金 の額について 8 理事及び監事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について 9 令和6年度第2回臨時評議員会への提案について
令和7年 3月31日	令和6年度第2回臨時評議員会（決議の省略） 審議事項 1 評議員の選任について 2 理事の選任について 3 監事の選任について

### 3 役員の名簿

令和7年3月31日現在

#### 評議員

氏 名	所 属 ・ 役 職 名
前 門 尚 美	沖縄県農林水産部 部長
工 藤 俊 一	沖縄県農業共済組合 組合長理事
當 銘 真 栄	糸満市長
久 田 浩 也	今帰仁村長
嘉 数 康 雄	沖縄県農業協同組合中央会 会長
與 那 覇 信 子	一般社団法人沖縄県女性連合会 会長

#### 理事及び監事

公社役職名	氏 名	所 属 ・ 役 職 名
理 事 長	下 地 常 夫	沖縄県農林水産部 参事監
専務理事	久 保 田 一 史	沖縄県農林水産部 参事
理 事	平 田 功	公益財団法人沖縄県農業振興公社 理事長
	古 謝 景 春	南城市長
	新 垣 安 弘	八重瀬町長
	前 田 典 男	沖縄県農業協同組合 代表理事理事長
	高 宮 城 実 孝	沖縄県酪農農業協同組合 代表理事組合長
	諸 見 里 元	沖縄県養鶏農業協同組合 代表理事組合長
	古 堅 忠 司	生活協同組合コープおきなわ 代表理事理事長
	仲 村 敏	学識経験者
監 事	宮 里 太	沖縄県農業共済組合 常務理事
	金 城 寛 信	公益社団法人沖縄県家畜改良協会 専務理事